

兵庫県豊岡市但東町

# 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第 21 号 (2019 年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum  
No. 21 (for the fiscal years of 2019)

# はじめに

2019年度は、開館して23年目となりました。この間、モンゴル民族の文化・歴史・宗教などの常設展示、多彩な企画展の開催、楽しみながら異文化が学べる体験型の博物館としてモンゴル国を紹介してまいりました。

しかし、12月に中国武漢で発生が確認された新型コロナウイルスは、世界に広まり、日本にも大きな影響を及ぼしました。本市においても2020年2月末に市主催のイベント等の考え方が示され、3月開催予定であった「第10回まるごとモンゴル雛まつり」を中止しました。

今年度の企画展は、昨年度からの継続を含め年3回の企画展を開催し、通算で79回を数えました。日本とモンゴルそれぞれの国の歴史や文化、また、モンゴルの草原の草花についても紹介してきました。

教育活動では、市内小学校への出前授業、市内外校の受入授業や各種体験教室などを実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校が休校となり、予定していた出前授業や来館授業を3月から中止せざるを得なくなりました。

国際交流では、モンゴル国からNGO「発展のあゆみ基金」より理事長他2名の視察を受け入れました。NGO「発展のあゆみ基金」のメンバーと、市内4地区のコミュニティ（竹野南地区、合橋地区、高橋地区、資母地区）の方々が活動内容を報告し、コミュニティの役割についての議論を深めました。

また、但東町平田区の高年クラブとは、それぞれの国の代表的な食べ物を作り、異文化に触れながら交流を図りました。

イベントでは、地域のまちづくり団体と「しば・モンゴル宝まつり」を当館内外で共催し、多くの家族連れなどで賑わいました。

今後も博物館の使命である文化振興はもとより、モンゴルの政府機関・交流団体や在日モンゴルの方々との連携を一層強め、交流の拡大・浸透を図り国際交流の拠点としての役割を果たしていきます。

また、地域団体と協同した取組みを進めるとともに、子ども達の学習、文化振興の拠点となる日本・モンゴル民族博物館を目指していきます。

おわりに、本年度事業にご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。



# 目 次

I 令和元年度概要 . . . . . 3	6 各種委員会委員等の受諾
	7 博物館ネットワーク
	8 博物館日誌抄
II 展覧事業 . . . . . 3	9 お客様の声（抜粋）
1 常設展	10 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館 の設置及び管理に関する条例
2 企画展	11 施設概要
	12 交通案内
III 資料収集保存事業 . . . . . 8	13 利用案内
1 寄贈	
2 資料の貸出	
3 資料の燻蒸	
IV 普及教育事業 . . . . . 9	
1 出前授業	
2 来館受入授業	
3 体験教室、講座の開催	
4 イベントの開催	
5 トライやる・ウィークの受入れ	
6 情報の発信と公開	
7 その他	
V 国際交流事業 . . . . . 12	
1 モンゴル国との国際交流	
2 モンゴル国友好訪問使節団の受入れ	
VI 管理運営 . . . . . 15	
1 組織・職員	
2 予算の概要（決算額）	
3 利用状況	
4 施設管理	
5 博物館協力会	

# I 2019 年度概要

今年度は、当館の存在と活動をさらに広く周知するため、魅力ある企画展の実施、国際交流、地域との連携強化や積極的な情報発信の推進などに努めた。

企画展示事業では、昨年度に引続き「大草原の草花 ～モンゴルステップを中心に～」を開催し、「公文書と資料からみる近代の高橋村」、「モンゴル遊牧民と馬」と題してモンゴルと地元の地域を取り上げた3つの企画展を開催した。

教育普及活動では、市内各小学校への出前授業、市内外校の体験・見学受入れや各種ものづくり体験教室を開催し、学習機会の提供に努めた。

国際交流事業として長年続いてきたモンゴル国友好訪問使節団の受入れとモンゴル国友好訪問団の派遣事業については、事業の見直しを図り、新たな目的をもった訪問事業を推進する予定で協議している。

モンゴル関係団体等との連携や協力については、「しば・モンゴル宝まつり」に、在日モンゴルの人々を招き、地域住民との交流を推進した。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月開催予定であった「まるとモンゴル雛まつり」はやむなく中止とした。

通常の業務では、展示活動や資料収集・調査・施設管理を主に行い、各種機関・団体等との連携をより密にする取り組みを推し進めた。

入館者数については、前年度に比べ 608 人、5.6%の減となった。

厳しい財政事情の中で、より魅力的な企画展の開催など事業の充実、市民とモンゴルの人々が集い憩う交流機会の拡充や情報発信の強化など入館者増に向けた取り組みの推進が必要である。

今後とも、当館の振興を図るために、戦略体系図の目的達成に向けた取り組みの一層の推進が必要である。

## II 展覧事業

### 1 常設展

#### (1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ①たんとうの森・・・人口樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像5体を展示
- ②アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示
- ③モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具などを展示
- ⑤伝承文化体験交流館・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町

の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

(2) 常設展の更新

当館では、開館 10 周年に企画した特別展を契機に、常設展の展示替えを行ったが、平成 20 年度からは、部分的な手直しにとどめている。

本年度より収蔵品の鑑定を依頼し、一部の鑑定が終了した。すべての収蔵品の鑑定が終了した段階で、常設展の展示替えを検討していく予定である。

(3) 屋外展示

① 山羊小屋…屋外の小屋に山羊 1 頭を飼育し公開している。

② 騎馬像（チンギス・ハーン） 1 体及び馬像 2 体

(4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内展示の案内・説明を行っている。見学の一助となるよう、利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心がけている。

今年度は、博物館設置の経緯について、受付横に掲示し、希望者にはコピーを配布している。

(5) 体験型博物館の取組み

楽しみながら学べる体験型の施設を目指し、ゲルとその内部に遊牧民の生活空間の再現、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験、また夏休み期間にものづくり教室、ハーバリウム教室、イベント時の羊のマスコットづくりなどを実施している。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験については、現在中止している。今後、感染拡大防止を徹底し、体験型の施設として新たな実施事業を模索していくことが必要である。

## 2 企画展

(1) 第 77 回企画展 「大草原の草花 ～モンゴルステップを中心に～」

会期：2019 年 1 月 27 日～2019 年 5 月 28 日

4 月 1 日～5 月 28 日まで 50 日間（見学者数 3,896 人）

ユーラシア大陸の中央部に開けたステップと呼ばれる大草原。モンゴルを含むこの地域の草原の標本（さく葉）を特別に展示した。あわせて、当館周辺に咲く草花等を紹介し、見比べながら草花の魅力を再発見する機会を提供した。関連イベントとして、フローラルハーバリウムワークショップを開催した。

（協力：ミュージアムパーク茨城県自然博物館）



モンゴル草原を代表する花  
エーデルワイスなどのさく  
葉標本を中心に展示



当館近くに咲く花を使ったハーバリウム作品

(2) 第78回企画展 「公文書と資料からみる近代の高橋村」

会期：2019年7月14日～2020年1月14日 152日間（見学者数3,733人）

豊岡市但東町を構成している旧3か村（合橋、高橋、資母）の近代の歴史を公文書、写真やその他の資料などから、改めて地域独自の歩みを振り返る機会を提供した。昨年の資母村に続く2年目は高橋村を取り上げ、当館保存資料に加えて地域の方々からも資料等を借用し、展示した。



企画展示室入口付近



満州「大兵庫開拓団」と高橋村

(3) 第79回企画展 「モンゴル遊牧民と馬」

会期：2020年1月19日～5月19日

1月19日～3月31日 63日間（見学者数 1,918人）

モンゴルの遊牧民が、草原に暮らすために不可欠な存在が馬である。遊牧民にとっての馬とは何か。写真パネル、映像、馬具などを展示し、その役割や文化を紹介した。



企画展示室入口付近



馬具にみる馬への想い



馬の調教とお披露目

(4) 城崎国際アートセンター＋豊岡市立美術館・伊藤清永記念館+日本・モンゴル民族博物館共同企画展 「IDRISI 磯人麗水」

会期：2020年3月20日～4月19日

会場：豊岡市立美術館・伊藤清永記念館

麗水(豊岡市城崎町上山 1465)

3月20日～3月31日 11日間(見学者数310人)

豊岡市立3館による初めての共同企画展 美術館が所蔵する伊藤清永の代表作「磯人」(1936年)、博物館が所蔵するモンゴルの民族資料など、城崎アートセンター滞在アーティストらが、市の文化資源を活用して製作した新作インスタレーションを展示した。



伊藤清永記念館に展示した  
博物館所蔵のモンゴルの骨笛、  
革袋、皮袋、法螺



## Ⅲ 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、故金津匡伸氏から寄贈を受けたモンゴル民族及び考古資料を中心に、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、またモンゴル国内や日本各地からの寄贈、寄託及び購入したもので構成されている。

平成 26 年度より、台帳の電子化整備及び資料の確認・調査を進めてきた。モンゴル関係資料については、平成 30 年度でほぼ完了したため、今年度はモンゴル国立科学技術大学のラグワスレン教授を招いて、宗教関連分野の資料鑑定調査を開始した。今年度を含め、4年間で約 550 点の鑑定調査を予定している。

### 1 鑑定調査

- (1) 鑑定者 モンゴル国立科学技術大学イチンホルロー ラグワスレン教授
- (2) 鑑定期間 2019 年 8 月 8 日 (木) ～ 9 日 (金)
- (3) 鑑定数 所蔵品番号 (0518～0666) 約 100 点



### 2 寄 贈

- (1) 寄贈資料 (敬称略・順不同)

#### 【個人】

- ① 林 正人 (神戸市北区小倉台)
  - ・馬頭琴 1 点
  - ・ブーツ 1 点
  - ・デール、帽子、ベルト各 2 点
  - ・モンゴルの模型 1 点
- ② 烏野正治 (大阪府岸和田市野田町)
  - ・馬頭琴 1 点
  - ・モンゴル風景絵画 2 点
  - ・デール、帽子各 1 点

#### 【団体】

- ① 資母地区区長会 日本・モンゴル民族博物館協力会
  - ・プレイシャトー 3 点
  - ・わんぱくトンネル 3 点
  - ・すべり台 2 点

### 3 資料の貸出

#### 【団体】

- ① 「とよおかアート縁日」
  - ・ゲル 1 棟 (小型 屋内用)
- ② 市立歴史博物館 - 但馬国府・国分寺館 -
  - ・明治時代の教科書 1 点
- ③ 城崎国際アートセンター
  - ・革袋 1 点
  - ・骨笛 1 点
  - ・法螺 2 点
  - ・皮袋 1 点
  - ・ドクロ杯 1 点
  - ・ゴビ砂漠の石一式

#### 4 資料の燻蒸

全館を対象にピレスロイド系殺虫剤の空中散布、有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧をそれぞれ2回実施した。収蔵庫（3ヵ所）内には有機リン系殺虫剤の蒸散剤を3回設置して殺虫・防虫処理を、害虫、ネズミの点検を毎月1回実施した。

また、7月に伝承館への汚水逆流があったため、改修工事の後、全館を対象に別途燻蒸を行った。委託先：クリーン(有)本店

## IV 普及教育事業

### 1 出前授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成12年度から実施している。授業では教員と協同し、持参した博物館資料を活用して、児童・生徒のモンゴルへの理解が深まるよう努めた。出前授業は、教育委員会の方針に沿い、市内に限定して実施している。3月実施予定であった小学校については、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

#### (1) 小学校

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	10月4日	豊岡市立中竹野小学校	2年	8	スーホの白い馬
2	11月14日	豊岡市立新田小学校	2年	35	〃
3	11月15日	豊岡市立三江小学校	2年	28	〃
4	1月17日	豊岡市立三方小学校	2年	26	〃
5	1月20日	豊岡市立清滝小学校	2年	21	〃
6	1月21日	豊岡市立静修小学校	2年	7	〃
7	1月23日	豊岡市立寺坂小学校	2年	6	〃
8	1月24日	豊岡市立日高小学校	2年	91	〃
9	1月27日	豊岡市立神美小学校	2年	26	〃
10	1月28日	豊岡市立弘道小学校	2年	45	〃
11	1月31日	豊岡市立五荘小学校	2年	113	〃
12	2月3日	豊岡市立福住小学校	2年	17	〃
13	2月4日	豊岡市立田鶴野小学校	2年	34	〃
14	2月6日	豊岡市立小野小学校	2年	10	〃
15	2月7日	豊岡市立八条小学校	2年	60	〃
16	2月10日	豊岡市立小坂小学校	2年	21	〃
17	2月13日	豊岡市立奈佐小学校	2年	8	〃
18	2月14日	豊岡市立豊岡小学校	2年	63	〃
19	2月17日	豊岡市立合橋小学校	2年	13	〃
20	2月18日	豊岡市立城崎小学校	2年	33	〃
21	2月20日	豊岡市立中筋小学校	2年	21	〃
22	2月21日	豊岡市立港西小学校	2年	10	〃

23	2月25日	豊岡市立府中小学校	2年	39	〃
24	2月27日	豊岡市立竹野小学校	2年	23	〃
25	2月28日	豊岡市立港東小学校	2年	9	〃

計 25 校 767 名

## 2 来館受入授業

### (1) 小学校・幼稚園

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	6月10日	豊岡市立資母小学校	4年	6	昔の生活・道具
2	9月25日	豊岡市立資母認定こども園		41	館内見学
3	1月14日	豊岡市立資母小学校	3年	15	昔の暮らし
4	1月27日	京丹後市立長岡小学校	2年	41	スーホの白い馬
5	1月27日	京丹後市立いさなご小学校	2年		
6	2月14日	京丹後市立吉野小学校	2年	13	〃
7	2月20日	京丹後市立久美浜小学校	2年	26	〃
8	2月21日	京丹後市立しんざん小学校	2年	35	〃
9	2月25日	京丹後市立大宮南小学校	2年	20	〃
10	2月27日	養父市立大屋小学校	2年	21	〃

計 10 校 218 名

### (2) 中学校

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	4月18日	(学法) 生野学園中学校		23	見学・体験
2	4月19日	県立やまびこの郷		7	〃
3	6月4日	出石特別支援学校中学部	1年	41	〃
4	8月20日	豊岡市立但東中学校	1年	4	博物館建設経緯

計 4 校 75 名

### (3) 高校

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	8月25日	県立豊岡高等学校	2年	4	地域開発

## 3 体験教室・講座の開催

### (1) 常設教室

ペーパークラフト（ゲル） 希望者なし

### (2) 体験教室

教 室 名		実施回数	参加人数	備 考
フラワーバーバリウム教室		16	44	
モザイクで絵を描こう		2	24	合橋3年・寺坂3年
夏 休	やきもの教室	1	11	
	ミニハーバリウム教室	2	14	

み	モザイクで絵を描こう	1	12	
	ミニハーバリウム教室	1	32	しば・モンゴル宝まつり
	計	23	137	

#### 4 イベントの開催

##### (1) しば・モンゴル宝まつり 2019年11月3日(日)

資母まちづくり協議会と共催し当館前広場及び館内で開催した。

認定こども園園児、小学生、中学生、高校生及び地域のサークルなどによるステージイベント、バザー、農産物販売、地域市民の作品展示、お楽しみ抽選会など多彩な催しがあり、多くの来場者で賑わった。

当館では、ハーバリウム教室、館内クイズラリーを行い、外部の協力を得てモンゴルの家庭料理・物産の販売、フラダンスのステージイベントを行った。

##### (2) まるごとモンゴル雛まつり 2020年3月8日(日)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### 5 トライやる・ウィークの受入れ

例年但東中学校2年生生徒の受け入れを行ってきたが、本年度は希望者がなかった。

#### 6 情報の発信と公開

博物館の存在や博物館活動等に関する情報を発信していくことは、入館につながる重要な活動のひとつであり、入館者が増えることは、広い意味で市民文化の振興と文化活動を支援することにつながる。

博物館のさまざまな情報を市広報や各種メディア等を通して、積極的に発信するよう努めていく。

##### (1) 博物館の広報活動

###### ①博物館事業案内などの主な定期発送先

市内各小学校、地区コミュニティセンター、振興局、県博物館美術館協会加入の博物館美術館及び報道機関など。

###### ②報道機関への情報・資料提供

###### ③資母まちづくり協議会等主催行事への協賛

##### (2) インターネット等による情報発信

市広報やイベントポスター等だけでは、周知する範囲が限定されるため、インターネットやSNSなどによる情報発信の強化が更に重要となっている。

博物館もホームページやフェイスブックを開設しているが、新たにインスタグラムも開始した。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

<https://www.facebook.com/monmuseum>

ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの更新や追加は、催し物案

内など定期的に行うもののほか、最新の多様な情報掲載を随時行うよう努めている。

## 7 その他

### (1) 文化財保護活動

特別天然記念物オオサンショウウオが、但東町畑山で発見されたとの情報により現地確認を行った。安全な場所であることが確認できたため、保護、報告等は行っていない。

## V 国際交流事業

### 1 モンゴル国との国際交流

モンゴル国との交流については、隔年で中学生主体の友好訪問使節団の受け入れや派遣を行ってきた。しかし、友好訪問使節団の参加目的や成果を明確化すること及び博物館事業のあり方の見直しを行う必要性が指摘され、今年度は、派遣や受け入れを行わなかった。

友好訪問については、モンゴルや外国の文化等を学び、あわせて日本の文化も学ぶ中で、モンゴル渡航への目的を明確にもつ子どもたちを育成した段階で協議していきたいと考えている。

育成するための取り組みとして、来年度小学生等を対象とした取り組み（モンパクグローバルクラブ）を創設し、活動を行っていく予定である。

#### (1) 草原の風 モンゴル祭り 大阪 2019（モンゴル秋祭り）

モンゴル秋祭りは、11月3日（日）靛公園東縁広場（大阪市西区靛本町）で開催されたが、「しば・モンゴル宝まつり」イベントと重なり出展していない。

#### (2) 市民と在日モンゴル人の交流促進

在日モンゴルの方々と当館・地域との交流促進のため、しば・モンゴル宝まつりに関西在住のモンゴルの方々を招き、地域の皆さんとの交流をはかった。

### 2 モンゴル国NGO「発展のあゆみ基金」の受け入れ

モンゴル国NGO「発展のあゆみ基金」より理事長以下3名、通訳1名の計4名を4月5日（金）～4月9日（水）の5泊6日間受け入れた。

#### (1) 日程

4月5日 関西国際空港到着入国、豊岡市到着

4月6日 東井義雄記念館観覧、当館観覧、但東地域の3地区コミュニティと懇談

4月7日 竹野南「里山の会」の活動シイタケのほだ木作りに参加、竹野地域竹野南地区コミュニティと懇談

4月8日 豊岡市表敬訪問（市長等と会談）、城崎温泉旅館協同組合と懇談、関係者との夕食会（但東町ホテルシルク温泉やまびこ）

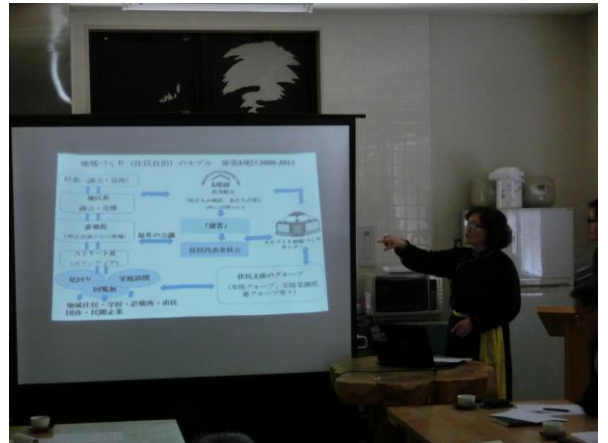
4月9日 但東町平田高年クラブと交流



NGO「発展のあゆみ基金」のメンバー（右から3名）



4/6 但東地域3地区コミュニティと取組報告



NGO「発展のあゆみ基金」活動報告



4/7 竹野南コミュニティと交流  
ほだ木に椎茸菌の植え付け作業  
昼食交流会  
活動報告会





4/8 関係者との夕食会(於：やまびこ)



4/8 城崎温泉旅館協同組合と懇談



4/8 豊岡市表敬訪問  
市長と懇談



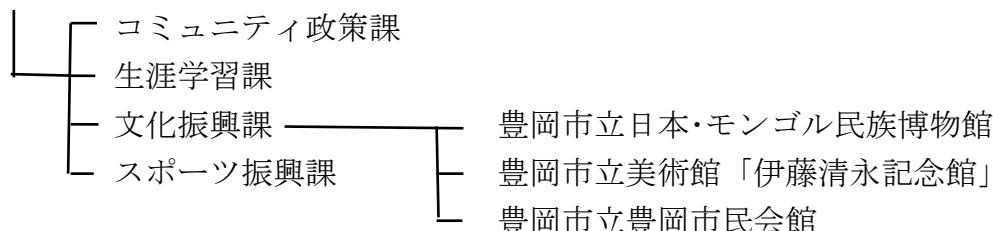
4/9 平田高年クラブとの交流会

## VI 管理運営

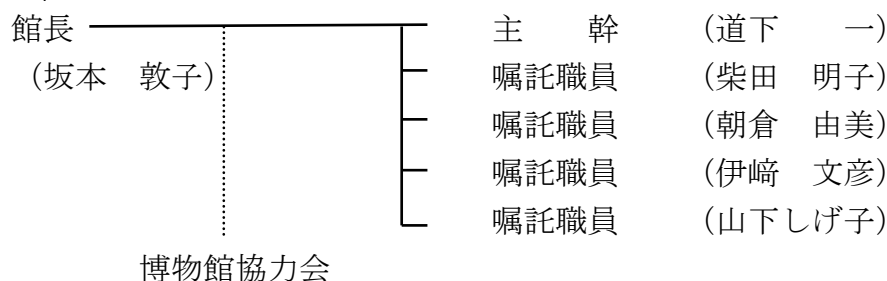
### 1 組織・職員（2020年3月31日現在）

#### (1) 組織

豊岡市地域コミュニティ振興部



顧問（福田芳郎）



#### (2) 職員

館長	坂本 敦子	（平成31年4月～ 嘱託職員）
主幹	道下 一	（平成26年4月～）
嘱託職員	柴田 明子	（平成13年4月～）
嘱託職員	朝倉 由美	（平成25年4月～）
嘱託職員	伊崎 文彦	（平成27年4月～）
嘱託職員	山下しげ子	（平成30年4月～）

#### (3) 事務分掌

坂本 敦子	管理運営に関すること。モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財保護に関すること。
道下 一	管理運営に関すること。モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整に関すること。予算編成及び歳入歳出に関すること。企画展示、ホームページ等の管理、館の庶務に関すること。
柴田 明子	歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関すること。職員の勤務管理に関すること。ミュージアムショップ及び館内外の管理に関すること。
朝倉 由美	常設展示・企画展示に関すること。収蔵品台帳整備に関すること。歳入歳出及び経理、受付及び案内、館内外の管理、館の庶務及び文書管理に関すること。

伊崎 文彦 常設展示・企画展示に関すること。歳入歳出及び経理、書籍管理、受付及び案内、ミュージアムショップに関すること。館の庶務に関すること。

山下しげ子 歳入歳出及び経理、受付及び案内、各種教室・講座の開催、図書及び館内外の管理に関すること。常設展示・企画展示に関すること。博物館協力会に関すること。文書管理に関すること。

## 2 予算の概要（決算額） 単位:千円

〔人件費〕 19,437

- ① 報酬 10,048（嘱託職員5名）
- ② 給与 4,406（一般職員1名）
- ③ 職員手当等 4,983（扶養手当120、通勤手当834、時間外勤務手当129、  
期末手当3,134、勤勉手当766）
- ④ 共済費 3,336

〔管理費〕 6,125

- ① 報償費 162（報償金50、費用弁償112）
- ② 旅費 3（普通旅費3）
- ③ 需用費 3,504（消耗品費145、燃料費91、光熱水費2,899、修繕料358  
飼料費11）
- ④ 役務費 315（通信運搬費222、手数料33、保険料等60）
- ⑤ 委託料 1,447（電気保安点検217、自動ドア点検57、消防施設点検33、  
空調設備点検216、芝生管理110、清掃管理255、警備262、  
電気使用料監視55、資料燻蒸110、除雪132）
- ⑥ 使用料 511（自動車借上料338、土地借上料12、機器借上料29、用品  
借上料79、テレビ視聴料34、通行料19）
- ⑦ 備品購入費 173（庁用備品136、事業備品37）
- ⑧ 負担金 10（負担金10）

〔事業費〕 1,525

- ① 報償費 244（講師謝礼244）
- ② 旅費 157（普通旅費157）
- ③ 需用費 902（消耗品費898、修繕料4）
- ④ 役務費 185（通信運搬費44、広告料135、手数料6）
- ⑤ 使用料 37（用品借上料20、データ使用料5、通行料12）

## 3 利用状況

当館は平成8年11月3日に開館し、利用者は2020年3月末累計で、456,932人となった。2019年度は開館日数311日、入館者数10,244人であった。

入館者数は、前年度と比べ 5.6%の減となった。今後とも、館活動の積極的な情報発信やチューリップまつり等と誘客の連携を図るなど、入館者増に努めていく必要がある。

【2015 年度（平成 27 年度）（開館日：313 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	29	42	47	42	16	41	60	37	19	27	7	43	410
一 般	549	274	155	135	258	244	220	350	173	145	203	373	3,079
高、大	1	12	7	6	62	17	16	53	36	2	6	13	231
小、中	47	19	3	9	34	15	8	11	6	5	23	47	227
その他	395	453	217	300	353	214	300	1,406	332	421	728	774	5,893
計	1,021	800	429	492	723	531	604	1,857	566	600	967	1,250	9,840
1 日平均	38	29	17	18	27	20	22	71	23	26	39	48	31

【2016 年度（平成 28 年度）（開館日：314 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	27	34	43	35	28	34	29	12	13	8	19	81	363
一 般	447	188	144	333	420	241	258	258	155	89	133	413	3,079
高、大	109	16	5	9	30	23	23	8	10	1	2	10	246
小、中	19	17	5	44	34	5	4	5	2	3	25	63	226
その他	363	201	238	353	304	237	440	1,801	244	335	614	841	5,971
計	965	456	435	774	816	540	754	2,084	424	436	793	1,408	9,885
1 日平均	34	17	17	29	31	19	28	83	18	16	33	54	31

【2017 年度（平成 29 年度）（開館日：308 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	64	49	60	57	81	47	30	654	36	25	27	53	1,183
一 般	429	290	141	152	305	285	264	409	149	102	168	459	3,153
高、大	4	12	0	5	17	41	17	4	2	0	0	14	116
小、中	22	21	9	3	51	12	12	3	3	5	37	94	272
その他	3,860	361	339	255	395	305	335	701	318	356	673	715	8,613
計	4,379	733	549	472	849	690	658	1,771	508	488	905	1,335	13,337
1 日平均	156	28	21	17	33	27	24	71	22	21	38	49	43

【2018 年度（平成 30 年度）（開館日：307 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	23	18	50	18	46	36	35	47	16	28	23	40	380
一 般	412	306	100	108	273	211	335	239	126	110	152	452	2,824

高、大	6	8	2	5	24	7	0	2	3	4	11	15	87
小、中	32	13	7	14	46	15	5	10	2	8	15	171	338
その他	2,060	233	457	171	394	199	347	1,384	176	612	640	550	7,223
計	2,533	578	616	316	783	468	722	1,682	323	762	841	1,228	10,852
1日平均	90	22	24	12	30	18	28	65	14	33	35	45	35

【2019年度（令和元年度）（開館日：311日）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	28	41	36	22	32	105	34	37	28	37	22	31	453
一般	436	331	145	196	213	197	179	156	92	157	202	149	2,453
高、大	11	9	0	3	12	4	1	1	5	5	16	23	90
小、中	43	43	3	14	40	9	5	6	5	9	31	30	238
その他	2,652	311	260	232	322	295	245	1,094	79	593	655	243	7,010
計	3,170	735	444	467	619	610	464	1,294	238	801	926	476	10,244
1日平均	109	27	17	17	22	23	17	49	10	34	37	17	32

#### 4 施設管理

##### (1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理は、豊岡市シルバー人材センター、ワークホーム大地に年間で3回委託実施した。シルバー人材センターには、毎年ボランティア活動として、博物館周辺の除草作業を1回行っていただいている。

また、委託分のみでは十分ではないため、当館職員も随時、除草・清掃作業を行っている。

また、博物館協力会やボランティアグループの皆さんにも、広場除草やフラワーガーデン設置など屋外環境の向上に協力をいただいた。

##### (2) 修繕工事等

平成12年寄附により建立した博物館前の騎馬像及び伴走馬像が、経年の風化によりクラック、モルタル剥離などが顕著になっていたため、修繕工事を実施した。

また、7月18日夜半に落雷により汚水ポンプが停止し、伝承館及び館前広場の一部に汚水が逆流した。

汚水ポンプの不具合であることから、下水道課によりカーペットの張替え、清掃、床電源の修繕、館内燻蒸などの修繕改修工事が施工され、8月20日に全て終了した。このことに伴い、7月19日の午後のみ休館し、以後は、工事終了期間まで、伝承館側の見学を停止した。

## 5 博物館協力会

博物館協力会は、当館が位置する資母地区住民の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。会長は、博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長・役員や各団体の長が理事として連なる。加えて、但東地域選出市議会議員及び協力会元会長が顧問となる役員構成になっている。

令和元年度の活動内容は以下のとおりである。

### (1) 役員

会 長 戸垣 和緒

副会長 2名      理事 10名      顧問 4名

任期：2019年（平成31年）4月1日～2020年（令和2年）3月31日

### (2) 活動内容

#### ① 役員会の開催

2019年5月23日に役員会を開催し、博物館の事業報告・事業計画などの説明と運営に対しての協力依頼を行った。

#### ② 各種事業への協力

企画展をはじめ、まるごとモンゴル雛まつりなど当館事業のPR協力や参加をいただいた。

#### ③ 芝生広場除草などのボランティア作業

敷地内芝生広場の除草や、メダカや金魚の飼育管理に協力いただいた。

## 6 各種委員会委員などの受諾

但馬地域博物館連絡会 副会長

## 7 博物館ネットワーク

### (1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、2020年3月末で144館が加盟し、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

- ・2019年5月31日 兵庫県博物館協会総会
- ・協会ホームページで夏休み子ども向けイベントの紹介
- ・協会ホームページで企画展案内情報更新
- ・子どもたちのミュージアムキャンペーンポスター作成
- ・協会ホームページの更新
- ・2019年度兵庫県博物館ガイドの作成、配布

### (2) 但馬地域博物館連絡会

但馬管内の博物館・美術館等が、相互協力して博物館活動の振興を図るため、1997年（平成9年）4月25日に設立され、2020年3月末現在では18館が加盟しており、当館は1997年4月に加盟した。

2019年度及び2020年度は、輪番で副会長に就任することになっている。

- ・2019年6月28日 総会
- ・2019年6月28日 研修会（「伊藤清永×伊藤晴子親子展」鑑賞  
各館開催中の企画展に関する意見交換  
市立美術館伊藤清永記念館の近年の取り組みと課題
- ・2019年9月27日 第2回研修会 県立但馬牧場公園・山陰海岸ジオパーク館見学 学芸員を中心とした情報交換会
- ・但馬まると感動市出展支援

## 8 博物館日誌抄

2019年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

- 4月1日 第77回企画展「大草原の草花～モンゴルステップ中心に～」前年度から継続開催（～5/28）
- 4月2日 館内会議
- 4月6日 モンゴル国NGO「発展のあゆみ基金」但東地域の各地区コミュニティと懇談会（坂本、道下、朝倉、伊崎）
- 4月8日 モンゴル国NGO「発展のあゆみ基金」豊岡滞在記念夕食会（やまびこ 坂本、道下、柴田）
- 4月9日 市立資母小学校入学式出席（坂本）
- 4月10日 2019 たんとうチューリップまつりオープン（期間中入館対応）
- 4月13日 ハーバリウム教室（4名）
- 4月22日 ラ・フェスタプリマベラ 2019（立ち寄り対応）
- 4月23日 文化振興課協議（本庁舎 坂本、道下）
- 4月24日 学校等・但東振興局連絡会（但東庁舎 坂本）
- 5月9日 館内会議
- 5月14日 但馬地域博物館連絡会役員会（出石庁舎 坂本）  
杉野さん馬のブチくんと来館
- 5月16日 山陰海岸ジオパーク推進協議会定例総会（本庁舎 坂本）  
ハーバリウム教室（3名）
- 5月23日 博物館協力会役員会（14名）
- 5月24日 文化振興課協議（本庁舎 坂本、道下）
- 5月28日 展示替作業
- 5月31日 県博物館協会総会&第1回研修会（県立歴史博物館 伊崎）
- 6月3日 館内会議
- 6月7日 電気保安点検
- 6月9日 博物館協力会奉仕作業（広場等除草 20名）
- 6月11日 館前通路にゆりプランター設置（ボランティアグループそよ風）  
館内会議
- 6月15日 合橋小学校3年生学P（モザイク）
- 6月16日 寺坂小学校2年生学P（モザイク）
- 6月19日 全館床面清掃（業者委託）

- 6月20日 空調設備点検（業者委託）
- 6月28日 但馬地域博物館連絡会総会&第1回研修会（坂本 朝倉 伊崎）
- 7月2日 館内会議
- 7月9日 学校等&但東振興局連絡会（但東庁舎 坂本）
- 7月12日 平成30年度決算審査（本庁舎 坂本 道下）
- 7月19日 伝承館、体験交流室下水逆流災害（午後臨時休館）
- 7月20日 伝承館側立ち入り禁止（入館者へ無料招待券交付）
- 7月22日 夏休みワークショップツアー（朝倉、山下）  
下水逆流災害による廃棄物処理（下水道課）
- 7月24日 シルバー人材センター除草奉仕作業（12名）
- 7月26日 アート縁日準備（市民プラザ 坂本 道下 伊崎）
- 7月27日 アート縁日（市民プラザ 道下 朝倉 伊崎 坂本）
- 7月29日 博物館あり方会議（本庁舎 坂本 道下）
- 7月30日 伝承館、体験交流室の移動・整理 AM（下水道課職員及び当館職員）  
〃 電気工事（下水道課業者委託）
- 8月2日 館内会議  
伝承館、体験交流室清掃（下水道課業者委託）  
騎馬像修理（業者委託） 電気保安点検（業者委託）
- 8月3日 伝承館、体験交流室清掃（業者）
- 8月4日 やきもの教室（11名参加）
- 8月5日 下水災害ゴミ搬出（北但クリーンパーク）
- 8月6日 伝承館側間仕切り戸設置（下水災害関連）  
重要施策部内ヒアリング・使用料見直しヒアリング（道下）
- 8月7日 下水被災箇所カーペットの貼替（下水道課業者委託）  
博物館所蔵品鑑定につきモンゴルよりラグワスレン教授来日  
関西国際空港まで迎え（坂本、道下）
- 8月8日 博物館所蔵品鑑定（ラグワスレン教授）  
敷地広場除草作業（業者委託）  
博物館協力会遊具検討（坂本、道下）
- 8月9日 博物館所蔵品鑑定（ラグワスレン教授）  
騎馬像修理（業者委託）
- 8月10日 ラグワスレン教授鑑定終了につき関西国際空港まで送り  
（坂本、道下）
- 8月18日 モザイク教室（12名参加）  
フラワーハーバリウム教室（2名参加）  
東井義雄講演会（坂本）
- 8月19日 伝承館側間仕切り戸撤去（下水災害関連）
- 8月20日 下水災害に伴う館内燻蒸（下水道課業者委託）
- 8月27日 ジオパーク推進協議会視察（3名）  
ハーバリウム教室（1名）

- 伝承館・体験交流室片付け（全員）
- 8月28日 重要施策市長ヒアリング（本庁舎 坂本、道下）
- 8月29日 伝承館通常観覧  
朝来家畜衛生保健所来館指導（坂本）
- 8月31日 企画展展示資料説明会（8人）
- 9月10日 館内会議
- 9月13日 文化振興課協議（本庁舎 坂本、道下）
- 9月18日 館内会議
- 9月14日 但東中学校体育祭出席（坂本）
- 9月15日 赤野高年クラブ出前授業（伊崎）
- 9月17日 館内会議
- 9月24日 市長協議（本庁舎 坂本、道下）
- 9月25日 芝生広場遊具お披露目式（坂本、道下、朝倉）
- 9月23日 資母小学校運動会出席（坂本）
- 9月26日 豊岡市博物館及び美術館館長会議（出石庁舎 坂本）
- 9月27日 但馬地域博物館連絡会第2回研修会（但馬牧場公園他 伊崎、柴田）
- 9月28日 企画展展示説明会（16人）
- 10月4日 豊岡市博物館及び美術館運営委員施設視察（委員3名 事務局2名）  
豊岡市博物館及び美術館運営委員会議（出石庁舎 坂本）
- 10月7日 文化振興課協議（本庁舎 坂本、道下）
- 10月8日 館内会議
- 10月11日 来年度事業協議（城崎アートセンター他 坂本、朝倉）
- 10月12日 台風19号の接近で繰上げ閉館
- 10月18日 ABC「キャスト」出演者番組撮影来館
- 10月21日 次年度企画展打ち合わせ（三重県 坂本、道下、朝倉）
- 10月25日 文化振興課協議（本庁舎 坂本、道下）
- 10月26日 但東中学校文化祭（伊崎）
- 10月28日 敷地広場除草作業（業者委託）
- 10月29日 館内会議
- 10月31日 市長協議（本庁舎 坂本、道下）
- 11月1日 2020 たんとうチューリップまつり球根定植出役（坂本）
- 11月3日 関西文化の日（11/3～4）  
しば・モンゴル宝まつりを資母まちづくり協議会と共催（館内クイズラリー、ミニハーバリウム教室等）
- 11月9日 但馬まるごと感動市出役（但馬ドーム 坂本）
- 11月11日 安国寺どうだんつつじ一般公開通路に広告幟設置
- 11月18日 館内会議
- 11月26日 安全衛生委員会巡回視察（8名）
- 11月30日 ハーバリウム教室（2名）
- 12月4日 館内床クリーニング（業者委託）

- 12月 7日 ハーバリウム教室（1名）
- 12月10日 館内会議
- 12月20日 政策費財政課ヒアリング（坂本、道下）
- 1月 9日 館内会議
- 1月12日 しぼどんど焼き
- 1月14日 モンゴル博物館あり方協議但東振興局（坂本、道下）  
資母小学校3年生（14名）昔の暮らし見学（伊崎）
- 1月16日 企画展展示替作業（職員5名）
- 1月19日 第79回企画展「モンゴル遊牧民と馬」  
読売新聞、神戸新聞取材（道下）
- 1月26日 サンテレビ企画展取材（道下）
- 1月28日 政策費復活要求ヒアリング（坂本、道下、朝倉）
- 1月31日 FMジャングル企画展取材（伊崎）
- 2月 7日 館長会議（市立美術館 道下）  
館内会議
- 2月 9日 ハーバリウム教室
- 2月17日 消防設備点検
- 2月19日 城崎アートセンター協議（坂本、朝倉、伊崎）
- 2月24日 但東図書館蔵書点検
- 2月27日 館内会議
- 3月 3日 モンゴル草原の暮らしと文化展示棟 天井照明修繕工事（業者）
- 3月 5日 企画展について協議（三重県 道下、朝倉）
- 3月 8日 ひなまつり中止、しゃがあ西村氏ほか2名来館
- 3月10日 館内燻蒸
- 3月16日 3館共同企画展展示品搬出（伊藤清永記念館 道下、朝倉）
- 3月19日 3館共同企画展打ち合わせ（ " 坂本、朝倉）
- 3月20日 3館共同企画展オープニングイベント出席（ " 坂本、道下、朝倉）
- 3月22日 ハーバリウム教室（2名）
- 3月27日 アート縁日協議文化振興課（本庁舎 坂本、道下）

## 9 お客様の声（抜粋）

以下は、令和元年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め、今後の運営に生かしたいと考えている。

◎4月28日 兵庫県加古川市（80代 男性）

前回入館した時より展示物が増えていた。モンゴル人の暮らしぶりや歴史、但東町の暮らしぶりや歴史が大いに参考になった。現職の先生方にも見学するよう勧めています。

◎5月11日 京都府京丹後市（80代 男性）

展示品が多く、楽しく見学できました。以前、子どもと一緒に来たり、孫と一緒に来たり何回か来ています。

◎7月13日 大阪府東大阪市（40代 女性）

展示物がたくさんあり良かった。すべての場所の映像も最初から最後まで見て2時間以上も滞在した。高原をイメージした植物も実際に見ることができ良かった。

◎7月29日 兵庫県神戸市（10歳未満 男性）

モンゴル博物館すごーくいい！！また来ます。

◎8月10日 兵庫県神戸市（40代 女性）

娘がモンゴルに興味を持っていたので来ました。ゲルの展示で生活をイメージし楽しんでいました。ゲルで宿泊体験があればいいなと思いました。

◎9月15日 大阪府吹田市（20代 女性）

なかなか足を運ぶ方は少ないと思いますが、非常に有意義な施設のため存続させてほしいと思います。

◎9月15日 兵庫県三田市（20代 女性）

とても楽しかったです。特にモンゴル衣装を着ることができるのは、ここでしかできない体験だと思います。衣装の他に小道具セットが充実していれば、今話題のインスタ女子もいっぱい来るのではないかと思います。いい思い出になりました。

◎9月30日 大阪府高槻市（70代 男性）

またゆっくり友達と来ます。

◎10月14日 京都府京丹後市（50代 女性）

部屋の臭いが大変気になった。受付の職員は大変親切だったが、私語が気になった。

◎1月13日 兵庫県豊岡市（10代 女性）

いろいろ知れてよかったです。

◎2月2日 兵庫県丹波市（40代 女性）

子どもがちょうど教科書でモンゴルのことを勉強していて、興味があり訪れました。子どもは楽しんでいました。私も興味深く拝見しました。

◎2月16日 兵庫県神戸市（50代 女性）

民族衣装に身長などサイズが書いてあると選びやすいと思います。

◎2月22日 京都府京都市（10歳未満 女性）

小学校2年生で来た時より、いっぱい見られてよかったです。モンゴルのことがよくわかった。

## 10. 日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例

平成17年4月1日  
条例第179号

改正 平成19年12月26日条例第66号  
平成26年3月28日条例第8号  
平成27年3月27日条例第14号

(設置)

第1条 市民文化を振興し文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山711番地とする。

(事業)

第3条 博物館は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、写真会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等しようとする者は、市長の許可を受け、1点1回に

つき、2,000円の範囲内で規則に定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第7条 別表第2に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は焼失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長がその使用を不適当であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第1項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第8条第1項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第11条 市長は、第7条第1項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から別表第2に定める

使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により観覧料、特別観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により、市長が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、交付の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則(平成19年12月26日条例第66号)

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成26年3月28日条例第8号)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月27日条例第14号)

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

別表第1(第5条関係)

区 分	観覧料(1人1回につき)		備 考
	個 人	20人以上の団体	
一 般	500円	450円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300円	250円	
小学生・中学生	200円	150円	

別表第2(第7条、第11条関係)

区 分	使 用 料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企画展示室	1,500円	2,000円	
体験交流室	1,200円	1,600円	1,600円
天幕住居(ゲル)	1基につき5,000円		
備 考	1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。 2 電気釜の使用料は、1回あたり1,000円とする。		

## 11. 施設概要

### (1) 本館建設概要

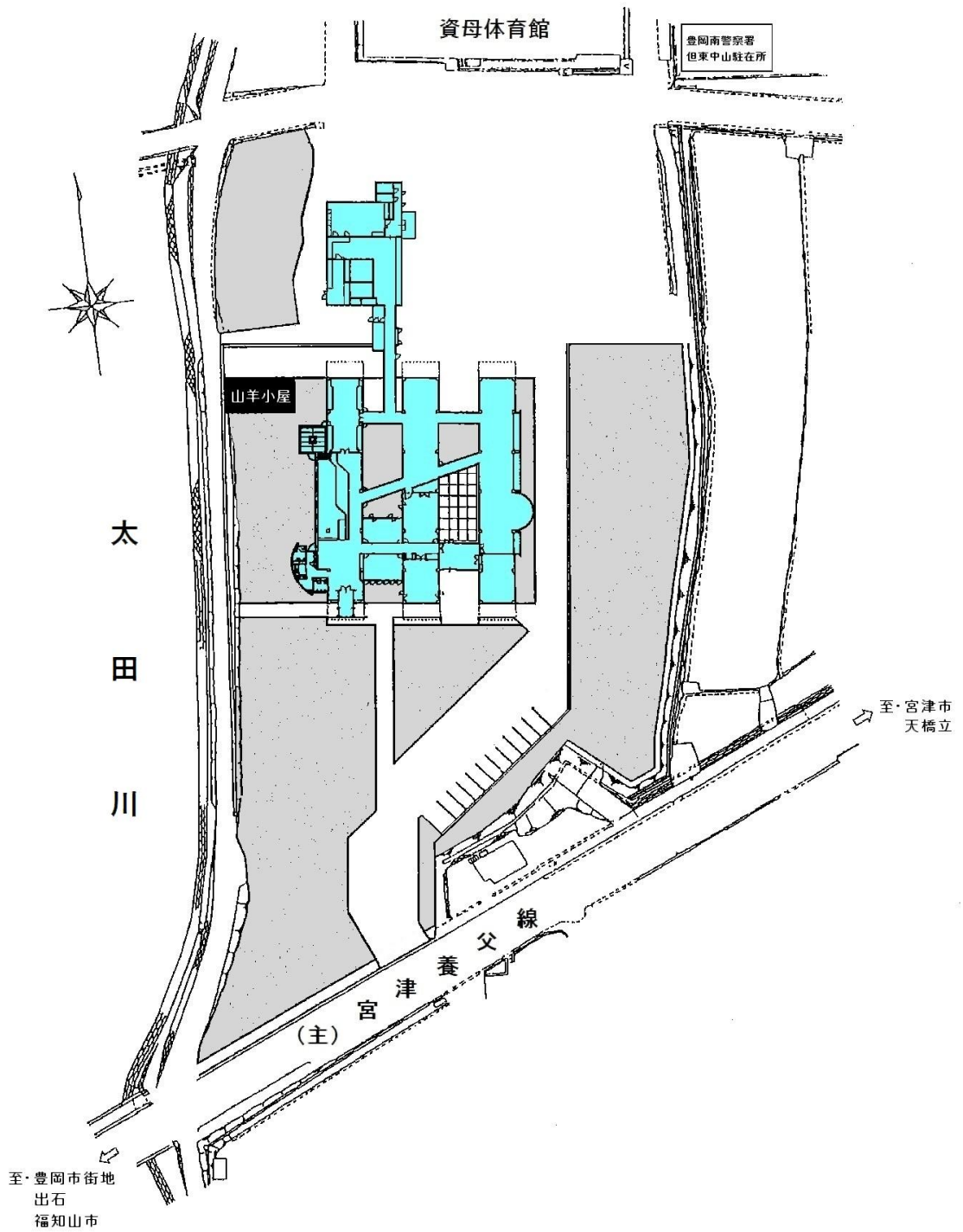
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84㎡
建築面積	999.65㎡
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森/211.6㎡、収蔵庫1/54.6㎡、収蔵庫2/56.5㎡ 荷解室/33.3㎡、応接室/28.0㎡、事務室/33.3㎡、資料整理室/48.2㎡ 展示室「アジアの歴史」/75.7㎡ 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」/206.8㎡ 展示室「チベット仏教」/37.7㎡ 企画展示室/74.4㎡ シルクロード回廊1/13.3㎡、シルクロード回廊2/13.3㎡、シルクロード回廊3/12.6㎡、シルクロード回廊4/12.6㎡

建物規模	平屋建て/東西41.8m、南北42.5m 地上高9.0m <外装>複層吹付
仕 上 げ	<内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板 天井/杉小幅板、岩綿吸音板貼

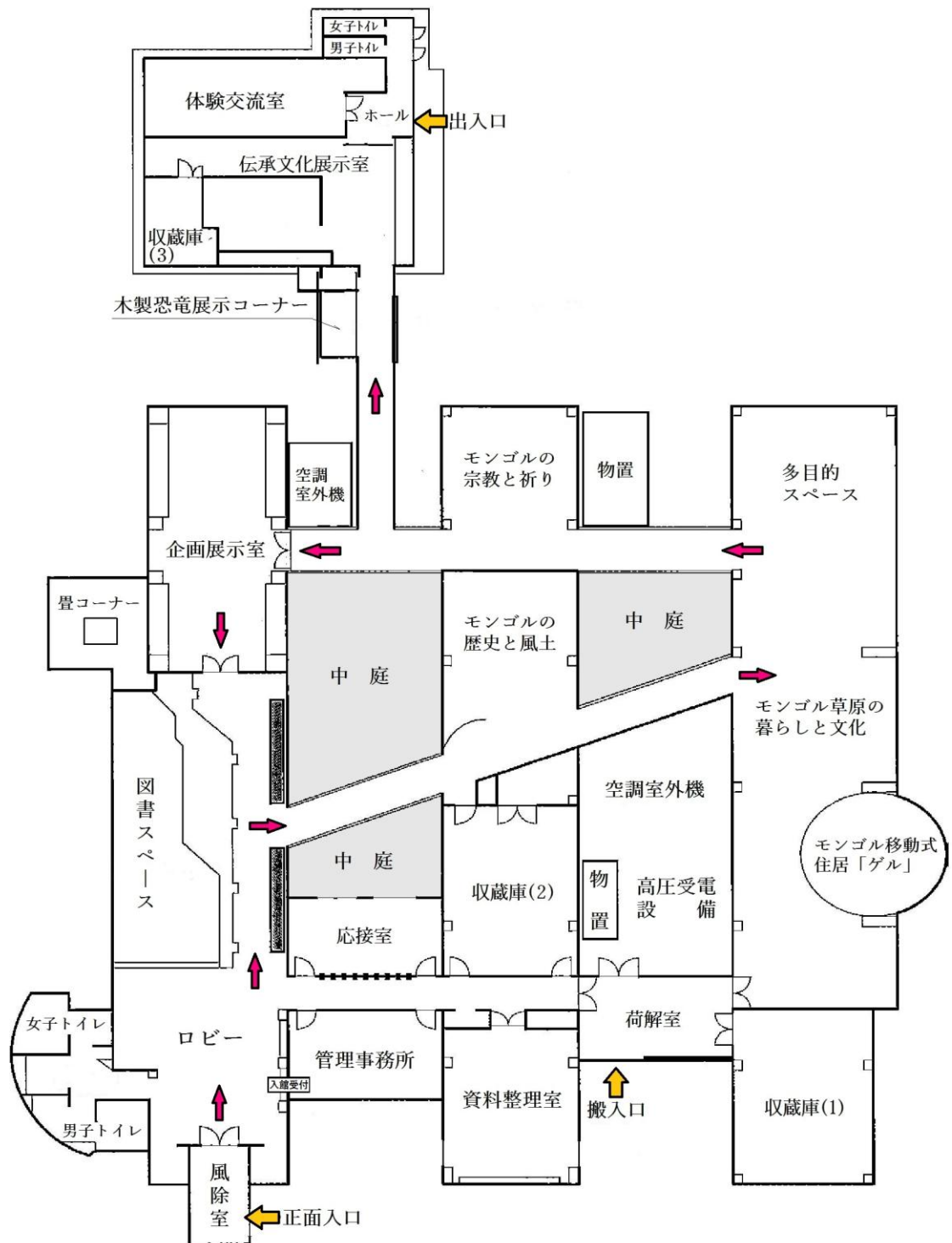
### (2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物・展示/井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示/井上良一建築設計事務所
工事施工	建物/株式会社マルテン 展示/株式会社ナギサ建築芸芸
工 期	建物・展示/着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
敷地面積	317.57㎡
構造概要	一部鉄筋コンクリート造、木造瓦葺
各室面積	体験交流室/62.6㎡、展示室「豊岡市たんとうの暮らしと文化」/112.5㎡、シルクロード回廊5/36.4㎡、収蔵庫/27.2㎡
建物規模	平屋建て/東西12.8m、南北21.2m 地上高7.1m
仕 上 げ	<外装>押出形成セメント板 <内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/ビニルクロス貼、一部杉板貼 天井/化粧PB貼、一部杉板貼

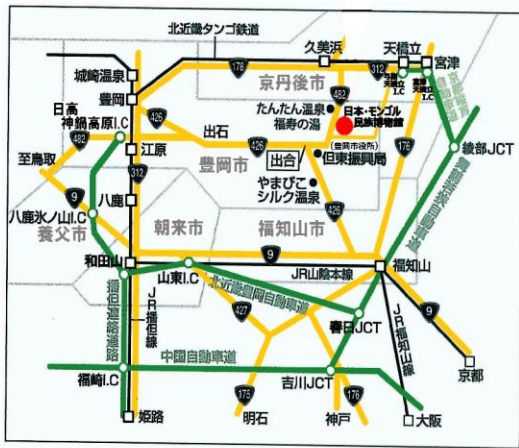
(3) 配置図



(4) 館内図



## 12. 交通案内



### ■ JRで（山陰線）

豊岡駅よりバスで約60分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車

### ■ お車で

大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道  
 福知山ICより約55分  
 京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路  
 与謝天橋立ICより25分  
 姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道  
 和田山八鹿道路 八鹿氷ノ山IC  
 より約45分

## 13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時  
 （入館は16時30分まで）
- 休館日 水曜日（祝日の場合は翌日）  
 年末年始（12月28日～1月4日）  
 展示替えによる臨時休館
- 入館料 一般 500円（450円）  
 高校 大学生 300円（250円）  
 小学 中学生 200円（150円）

※（ ）内は20名以上の団体の場合

※障害者手帳をお持ちの方は各料金の半額

※65歳以上の方は半額

※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料

**豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報第21号**

**Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum**

**NO. 21 (for the fiscal years of 2019)**

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711

711 Nakayama, Tanto-town, Toyooka-city, Hyogo Pref. 668-0345 Japan

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

E-mail [monpaku@city.toyooka.lg.jp](mailto:monpaku@city.toyooka.lg.jp)

**発行／豊岡市立日本・モンゴル民族博物館**

2020年3月31日発行